



豊玉二中だより

令和 8 年度 第 2 号

発行日 5 月 7 日 (木)

練馬区立豊玉第二中学校

校長 大野 雄一郎

運動会を通して確かな成長を

校長 大野雄一郎

長く続いた大型連休が明け、校庭の木々の緑がいつそう鮮やかになりました。生徒たちの元気な声が学校に戻ってきたことを、何よりうれしく感じます。

ほとんどの生徒が 4 月の緊張感から解放され、学校生活に慣れが出てくるこの 5 月。本校では 23 日に開催される「運動会」を大きな目標として、生徒一人一人がさらにもてる力を発揮できるよう支援していきます。

さて、前述のように学校生活にも慣れ少しずつ「自分らしさ」を出せるようになる 5 月です。4 月の朝礼でも伝えたように、中学校生活においても、他の人を認め合い、一人一人が「自分らしさ」を発揮することは非常に大切です。しかし、真の「自分らしさ」は、自分勝手に振るまうことではありません。学校という集団生活の中には、4 月の学年集会などで説明があったように「規律（ルール）」があります。これは、誰にとっても安心・安全な場所であるための土台です。この土台があるからこそ、安心して自分の意見を言い、自分らしさを表現できるのです。「時間を守る」「挨拶をする」「身だしなみを整える」「他の人に思いやりをもって接する」こうした当たり前のことを当たり前にすること（凡事徹底）が、結果として自分自身の「自分らしさ」と個性を守ることに繋がります。学校生活に慣れが出てきた 5 月にこそ、もう 1 回この「規律と自由の両立」を考えてほしいと思います。

また、連休明けのこの時期、身体や心に「だるさ」や「不安」を感じる、いわゆる「五月病」のような症状が出やすい時期でもあります。新しい環境で歩み続けてきた 4 月の疲れが、ふとした瞬間に表れるのは自然な反応です。ご家庭におかれましては、お子様の様子を丁寧に見守っていただき、もし「朝、起きるのがつらそう」「食欲がない」といったサインがあれば、まずはゆっくりと話を聞いてあげてください。学校でも、何かあったときに SOS が言えるよう伝えています。同時に担任やスクールカウンセラーが寄り添い、生徒が一人で抱え込まない体制を整えています。何かお気づきのことがあれば、小さなことでも遠慮なく学校までご連絡ください。

最後になりますが、いよいよ今月 23 日には運動会が開催されます。週明けには練習も本格化してきます。運動会は、個人の記録を競うだけでなく、クラスや学年という集団が「規律」をもって一つにまとまる絶好の機会です。練習の中では衝突もあるかもしれませんが、それを乗り越えてクラスが一つにまとまっていく過程こそが、生徒たちを大きく成長させます。当日は、生徒一人一人の「自分らしい」一生懸命な姿が見られることを期待しています。保護者の皆様におかれましては、ぜひ当日ご来校いただき、生徒たちの頑張る姿に温かいご声援を送っていただければ幸いです。また、練習中から暑い日が予想されます。ご家庭で十分に睡眠をとるよう、ご協力ください。詳細な日程やプログラムにつきましては、後日改めてご案内いたします。